

裁判員経験者との意見交換会開催概要

開催日 令和4年6月30日（木）

参加者 裁判員経験者8名、裁判官1名、検察官1名、弁護士1名

【意見交換会の概要】

～裁判に参加した感想をお聞かせください～

- ・参加するまではニュースで見る事件を他人事と捉えていたんだなということを実感しました。
- ・「罪を憎んで人を憎まず」という言葉の真意が何となく分かるようになった気がします。裁判員の経験を生かしていきたいと思います。
- ・傍聴席側からは反対側からの景色を見ることができました。裁判官が身近に感じられるようになりました。
- ・裁判の中でする判断は普段の仕事ではやらないことなので、お金を払ってもできない貴重な経験でした。

～検察官や弁護人の活動で印象に残っていることはありますか～

- ・遺体が捨てられたとされる真っ暗な川面の動画の取り調べでは、状況をいろいろと想像してしまい遺体の写真を見るよりもかなり衝撃的でした。動画が撮影された場所だけでなく、内容も詳しく事前に説明してもらえば心の準備ができたのではないかと思います。
- ・いただいた資料は分かりやすいものでしたが、最初の被告人の現場での動線についての口頭説明は、先に見取図を見せてもらっていた方が直感的に理解できたと思います。また、何のために提出した証拠なのかも先に説明してもらった方が分かりやすかったと思います。
- ・被告人1人にたくさんの弁護人が付いており、それぞれの弁護人が重複する内容の質問をしていて、そこに時間をかける必要があるのかという疑問がありました。

～精神的な負担や職場との関係など裁判に参加して大変だったことはありましたか～

- ・土日にも裁判のことが常に頭から離れませんでした。また、家に帰って本来の仕事をする際に頭を切り替えるのが難しかったです。
- ・私の場合は「休暇もあるし勉強してきて」と温かく送り出してくれましたが、国民の義務だからと言って、職場での人間関係上、仕事を休むことが厳しい方もいるんだろうなと思います。また、職場で裁判のことを尋ねられると自分の考えまで話してしまいそうで、仕事をしながら参加するのは難しいなと思いました。
- ・被害者の心情を考えたり、被告人の生い立ちを聞いたりすると、どこに重心を置いて考えたらいいのだろうと迷いました。自分の意見が判決に影響すると思うと辛かったです。

～参加する前と参加した後で何かが変わりましたか～

- ・裁判所は厳かで緊張する所だと思っていましたが、二、三週間にわたって裁判官と毎日話していると、自分と変わらない普通の人なんだなと思うようになりました。
- ・裁判員だけの意見では多数であっても判決に反映されない仕組みだし、いずれはAIでもいいのではと思い、自分のいる意味があるのかなと思っていましたが、裁判が終わった後、被害者の御遺族の方が「被害者の受けた悲しみや苦しみ、憎しみは裁判員に伝わったと思う」と言っておられるのを報道で知り、自分が裁判員をやった意味を見出すことができました。

～安心して参加するために裁判所に求める配慮や工夫、広報アイデアなどがありましたら教

えてください～

- 突然通知が来たので驚きました。もっと身近に感じられるような周知があればいいなと思います。
- 候補者名簿に記載された通知の後、「選ばれる前に一度傍聴や法廷見学に来ませんか」といったワンクッションがあってもいいのかなと思います。また、裁判員制度だけではなく、裁判そのものが自分に無関係なものでは決してないといった広報のために、子どもの社会科見学のようなものがあるのもいいのかなと思います。
- 心の準備のため、候補者名簿に記載される確率、候補者に選ばれる確率、実際に裁判員に選ばれる確率などの統計情報があればよいと思います。

～最後に未来の裁判員やその職場へのメッセージをお願いします～

- 法廷でメモを取ることも大事ですが、被告人や証人の表情などをよく観察するとまた違った見え方があるのかなと思います。色々な事情があると思いますが、ぜひ会社にも裁判員に協力していただきたいと思います。
- 色々な立場で考え、色々な意見を聴くことで、自分の価値観を振り返るまたとない機会となりました。また、家族や友人ではない誰かの人生をみんなで責任を持って考えるのは、なかなかできない素晴らしい経験でした。そのような経験は家族や職場の人にも生かされていったと思います。
- 裁判所から通知が来て悩んでいる方がおられるのなら、辞退せずに裁判所に来てほしいなと思います。そして、選ばれた時には堂々と自信を持って参加してほしいと思います。
- 勤務先の社内報に裁判員体験談を寄稿したのですが、意外に多くの方が興味を持ってくれました。社内の方が候補者になったら体験談を話すなどサポートしていきたいと思います。
- 他人の人生に影響を与えるようなことを経験することはないと思っていましたので、裁判に参加するのは重かったのですが、参加してよかったかどうかと聞かれれば、一言、よかったと答えます。
- 参加する前はすごく不安でしたが、非常にいい経験でした。通知が来た人にはぜひ参加していただきたいと思います。
- 普段経験できることではないので、いい人生勉強になると思います。
- 裁判員になって裁判長から意見を求められた場合には、せっかくですから積極的に発言し、活発に議論してください。職場に対しては参加させてもらって感謝しています。

～辞退率の改善について、何か意見はありますか～（司法記者クラブからの質問）

- 実際に裁判で拘束される日はそんなに多くはないことをもっと分かってもらえれば、参加しやすくなるのではないのでしょうか。
- 辞退理由が、怖いとか責任が重いといったことなのであれば、そういうイメージを変えていくような特集等があってもいいのかなと思います。
- 職場で参加しやすい環境を整えたり、参加するための休暇制度を整えたり、社会制度も含めて参加しやすい雰囲気作りをもっとみんなでやっていく必要があるのかなと思います。

以上